



議会だより

Vol.117



今年の“にんにくとべごまつり”は4年振りに通常開催され、多くの来場者で賑わいをみせた
(町名が似ていることから交流が始まった、千葉県多古町議会議員の皆様)

目次

- 1. にんにくとべごまつり／多古町来町・・・ P2～ P3
- 2. 委員会報告／定例会のあらし／議案審議 P4～ P5
- 3. 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・ P6～ P9
- 4. 決算審査特別委員会・・・・・・・・ P10～ P11
- 5. 議会議員・監査委員活動報告・・・・ P12～ P13

“べごまつり” 開催！！

、来場者は11,681人でした。

した。今年は4年ぶりの
会議員、近隣市町村から
を存分に堪能して頂いた



五感から食欲をそそられるBBQ

田子町文化観光交流施設 “みろく館”



古民家を改修した“みろく館”
担当課から活用方法等の説明を受け、議員からは
様々な質疑が出され、活発な意見交換の機会となった

第38回 “にんにくと”

今回は4年ぶりの通常開催となり 感染症拡大前の来場者と同等とな

「第38回にんにくとべごまつり」が令和5年9月30日～10月1日に開催されま
通常開催となり、多くの来場者が訪れました。国会議員をはじめ千葉県多古町議
も数多くの来賓の方々にもお越し頂き、田子牛の丸焼きや、にんにく等、田子町
ことと思います。

9月29日・30日
千葉県多古町視察来町



令和5年9月29日から30日にかけて千葉県多古
町議会総務産業建設常任委員会田子町視察が行
われました。30日には“にんにくとべごまつり”
へ参加し、両町の今後の議会活動へ役立つもの
となりました。



議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 北田騰副委員長 尾形憲男委員
欠端則夫委員 山崎一義委員

協議

○実施日 8月18日
8月21日開会の令和5年第3回臨時会及び、9月1日開会の第3回定例会の議事日程について。

議会広報編集委員会

○実施日 7月7日
議会だより第116号の内容確認、誤字・脱字・レイアウトについて校正を行い、20日に再度招集し最終校正を行い、8月8日に議会だよりを発行しました。

○実施日 8月18日
議会だより117号の構成、スケジュールについて協議し、担当者を割り振り、順次業務を行いました。

総務・文教常任委員会

【構成委員】 北田騰委員長 宮村尚哉副委員長 菊地健二委員
中平美賀子委員 澤口勝委員

○実施日 8月2日

教育課

チャレンジデーの結果について、自治会ごとの参加率の報告があり、参加率がアップした18団体他、各賞の表彰式が7月21日行われた。

総務課

光ファイバー網の活用について、地域課題の解決に向けたDX推進に取り組むため交付金を活用した事業計画を国及び件の支援を受けて進める。

政策推進課

相米慎二監督映画祭り及び美しいまちづくりフォーラムが、田子町を会場として開催される。

住民課

にんにく盗難防止の実施状況について、10日間のパトロールを実施したことと警察への被害報告の届け出はなかった。

税務課

ふるさと納税について、本年7月末現在において、昨年比べ件数・金額共に減少しており、主な要因としては、令和5年産にんにくの掲載が遅れたことなどから、寄附件数等が減少したと考えられる。

産業・民生常任委員会

【構成委員】 欠端則夫委員長 尾形憲男副委員長 椛本義見委員
山崎美代志委員 山崎一義委員

○実施日 8月4日

診療所・老健施設

診療所・老健たっこ・訪問看護ステーションの利用者数について、前年度によりやや減少している。採用については、医療従事者2名を採用した。

地域包括支援課

地域包括支援課で行っている相談処理状況について、介護や福祉に関する事項が最も多く、続いて医療関係の相談が多くなっている。

住民課

一般廃棄物の処理状況について、ゴミの排出量及びリサイクル率については、概ね前年度並みになっている。

建設課

世紀越えトンネルの具現化では、バイパスルートの実地踏査を参加者11名により、7月に実施した。

産業振興課

森林環境譲与税の活用について、意向調査により町へ委託したいと回答があった森林の現状調査は36%を終えており、調査の早期完了に向けて取り組んでいる。

商工振興課

みろく館の入館者数について、オープンから7月末現在で3万5095人となり、今後は指定管理に向けての検討を行う。

農業委員会

農地移動の実績報告と農業委員の任命及び農地利用最適化推進委員の委託について報告があった。

令和5年田子町議会第3回臨時会／第3回定例会あらまし

令和5年第3回臨時会が8月21日(月)に開催され、議案3件が上程され、可決となりました。

令和5年第3回定例会が9月1日(金)から9月8日(金)までの8日間の会期で開催されました。

9月1日には諸般の報告、議案の上程・説明がされました。

9月4日の一般質問には3名の議員が登壇し多岐にわたり活発な議論がかわされました。

9月5日には、決算特別委員会が設置され8日まで開催し、一般会計から特別会計決算について認定がなされました。

同日、議案の審議が行われました。

9月8日には認定第1号の審議、議員派遣の件、各常任委員会に係る所管事務調査の承認が行われました。同日、追加日程として議案1件が上程され、可決となりました。

議案番号	上程議案の件名	議決結果
議案第54号	大黒森施設に係る指定管理者の指定について	原案可決 (賛5・否3)
議案第55号	体験交流センターに係る指定管理者の指定について	原案可決 (賛8・否0)
議案第56号	令和5年度田子町一般会計補正予算(第3号)について	原案可決 (賛8・否0)
議案第57号	田子町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第58号	田子町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第59号	令和5年度田子町一般会計補正予算(第4号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第60号	令和5年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第61号	令和5年度田子町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第62号	令和5年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第63号	令和5年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第64号	令和5年度田子町水道事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第65号	令和5年度田子町一般会計補正予算(第5号)について	原案可決 (賛9・否0)

※議長は採決には加わりません。

一般質問

9月定例会では9月4日に一般質問が行われ、**3人の議員**が町政について質問をしました。内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。TCVでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。

○欠端議員・・・P7

- ・田子中の整備について
- ・有害鳥獣駆除について

○宮村議員・・・P8

- ・空き家対策について
- ・子育て負担軽減について

○中平議員・・・P9

- ・SDGsについて
- ・美しい町づくりについて

一般質問って？

一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。



欠端 則夫 議員

町の景観維持の為に 出来ることは

田子中の整備について

質 通学路階段の両脇を含む部分を整備する考えはないか。

答 平成29年度に職員による草刈り剪定作業を実施。昨年十月末には擁壁下の斜面周辺において業務委託による伐採作業を行っているが、木や藪の生育状況が早く現在の状況となっている。今後は通学する生徒に支障の無いよう伐採剪定作業等を調査相談の上、定期的に行っていきたい。

質 どれくらいの人数が利用しているのか。

答 83名の21名位が利用している。

質 田子中の正門はここなのか。

答 正門という物は無く、全部門である。

質 壁画が古くなっている。描き直しや廃止を考えないか。

答 擁壁の整備そのものは平成元年度から3年度にかけて八戸土木事務所によって施工された。その際に壁画と階段レリーフを制作。現在も擁壁や階段の財産管理は県で行っており、状況をきちんと伝えながら要望や相談をして参りたい。

有害鳥獣駆除について

質 猪の多い自治体などに何名かを研修に出せないか。

答 昨年度農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーを講師依頼したが、コロナの為、リモートでの研修となった。講師から被害の発生場所や、周りの状況によって罠の設置場所を検討することが必要であるとの提案で現地での開催を計画している。現地開催のメリットは現地に合ったアドバイスを受ける事が出来る。多くの人が情報を共有出来るものと考ええる。

質 多くの人が覚える事は良い事だが、平たく初心者も多く作るより中級者を作る事を考えたらどうか。

答 そういう事も考えながら進めて参りたい。

質 罠の見回りにドローンを用意できないか。

答 罠の見回りを田子町鳥獣被害防止対策実施隊から協力を頂き見回りを行っているが、早朝からの対応や期間毎日の見回りで大きな負担と認識している。見回り回数を減らす事を目的に令和二年度から、オリワナシステムを導入している。

質 オリワナシステムは括り罠にも使えるか。

答 使えるようである。

質 何回も罠の所に行けば足跡や匂いが付くので色々な方策を用いて欲しい。

答 十分検討して行っていく。

農業者向け鳥獣被害対策研修会
イノシシなどの野生鳥獣から農作物を守るために、農家でできる対策について研修を行います

イノシシから大切な農作物

当町でも広範囲でイノシシなど様々な動物が見られるようになった



宮村 尚哉 議員

来年から「相続登記の義務化」が始まる

空き家の現状とその対策

質 町内における空き家の調査とその状況は。

答 空き家としての定義付けをし、全町的な調査を実施し把握された件数は409件となり、町としては「田子町空き家等の適正管理に関する条例」を制定し、危険な状態と判断された空き家の所有者に対して「助言や指導、勧告」を行っている。現在までに通知した件数は37件で、増え続ける事が懸念される。

答 事業開始から現在まで41件ながら、実際に売買や賃貸借につながった成約件数は20件です。さらなる普及を図るためにチラ

シ等を使い、周知に努めていく。

質 3者協定内での情報共有は。

答 月1回の定例会をアドバイザリー協議会と田子町で行い、空き家対策に関する法制度や対策事例の共有、活用の周知活動セミナーや相談会の開催計画を進めている。

質 空き家に関する相談はどこにすればよいか。

答 リフォームや売買、解体はアドバイザリー協議会ですが、役場住民課を通じて紹介、ご案内も可能です。一方、危険な状態にあるものや環境に悪影響を及ぼしている等の情報提供は、町が受け付け対応する。

質 義務化とあるが処罰などはあるか。

答 正当な理由がない場合、過料等の処罰があります。

質 空き家の所有者は確認できるのか。

答 全て把握はしていないが、確認可能な状況にある。

質 県内初の取り組みでもあるので、空き家の活用促進のため取り組みで欲しいが考えはありますか。

答 各方面と協力し様々なアイデアを持ち寄り、積極的に取り組んでいきたい。



空き家対策は全国的な問題となり先送りできない課題の一つ

子育て負担軽減への取り組みを

質 学校給食について国では無償化の方向へ向かっていると思われる。町長の考えは。

答 国や県において学校給食無償化に向けては、財源の確保が大きな課題となっている。県では「青森新時代」をキャッチフレーズに掲げ、「医療費、保育料、おむつ代、給食費等について市町村と連携し、段階的な無償化を推進」することとしており、当町においても財源の確保は大きな課題であるが今後も国が行う子育て支援の方向性や青森県の子育て支援の新たな取り組みを注視しながら検討していく。

質 財源確保は大きな課題となりますが、国、県の動向に注視して迅速な対応を出来るような体制は作れるか。

答 動向を注視し、対応できるように検討する。



中平 美賀子 議員

SDGS

食への関心を高め

環境を考える

質 現在の学校給食の残食状況や対応など町での取り組みは。

答 残食状況は大きく4つに分類し集計し、「主食」「主菜」「副菜」「汁物」となり、残食率は令和4年度で、主食9・1%、主菜5%、副菜9・6%、汁物3・6%となり、全体では6・6%となっている。コロナウイルス感染症による欠食の影響もあり例年よりは高い傾向にある。また、残食を減らす取り組みとしては、食育活動を通して意識向上を図りたい。栄養教諭による出前授業を企画し、各学年ごとに様々なテーマで広く学ぶ機会を持てるようにしている。他にも、他教科の学習の中で、農作業体験を通して田子町の農産物への理解を深める活動も行

っている。食育活動を通して、食の重要性や心身の健康への理解、食べ物への感謝の心を養うことや地元産の農産物への理解を深めることにより、残食率減少につながると考えている。

質 活動の頻度と成果は。

答 食材の産地など給食の内容については毎給食時にお知らせし、栄養教諭が給食中に栄養指導等を全クラスに行っている。



様々な方々の工夫や想いが詰まった学校給食が提供されている

質 残食については子ども達の、食べたいと思う意識改革についての取り組みは。

答 食に興味を持ってもらうために、郷土料理などの様々な地域の食事をメニューに加えたり、苦手なものに対しても小さく刻んだり肉や他の食材を多めに使用して食べやすい配慮をしています。

美しいまちづくり

質 側溝や街灯など町民だけでは限界を感じた時に町での対応や取り組みはありますか。

答 道路の側溝清掃については所管する路線等により、国、県、町の管理となり町道であれば町の管理となります。通常管理については基本的に地域の自治会の皆様にご協力を頂きたいと考えているが、側溝の蓋が重くて外せない場合や深くて危険な場合は、建設課に連絡を頂き、現場を確認した上で軽微なものであれば職員で対応

します。なお、作業規模が大きい場合は、業者委託するための予算化と合わせ計画的に進める必要がある。次に、街灯の清掃については、清掃作業は行われないため、場所によっては照明器具の汚れが著しいものも見受けられる状況となっている。本来は、町を美しく照らすための街灯であったものが美観を損ねるものになってはならないと考えているため、調査を行い環境美化に努める。

質 側溝の蓋が重いなど町民からの建設課に対して問い合わせなどはありましたか。

答 数年ほど遡って調べたが問い合わせの事例はなかった。過去には蓋が大きすぎるなどの理由で外せず、建設課に相談があり対応したという事例はあります。

質 軽微なものでも相談し対応可能でしょうか。

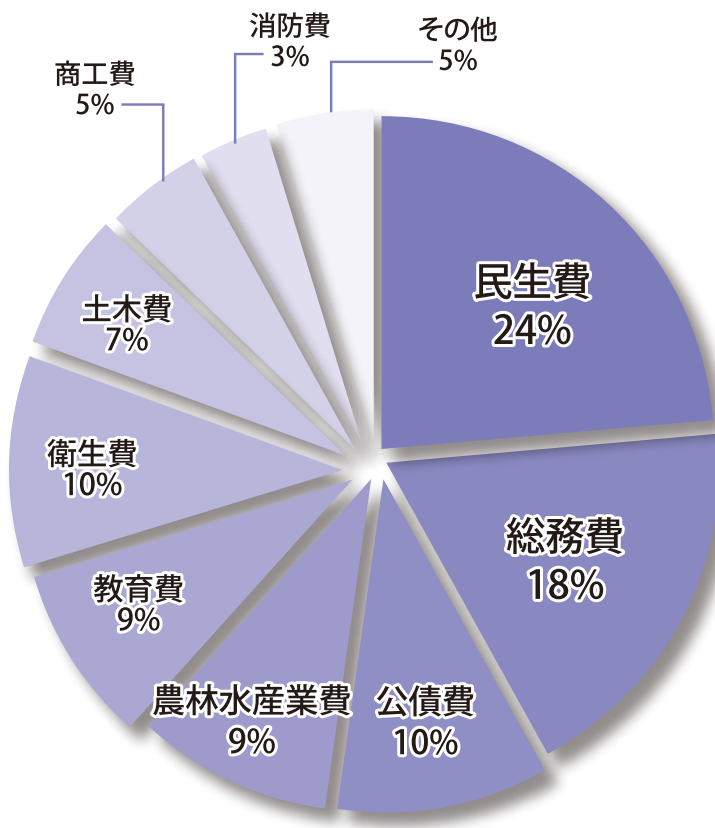
答 可能です。

年度決算を認定 前年度対比で自主財源が増加

一般会計 歳出

歳入総額：49億8981万円

項目	令和4年度		
	決算額(千円)	構成比	前年度比
民生費	1,189,421	23.8%	100.0%
総務費	917,898	18.4%	102.6%
公債費	511,701	10.3%	89.6%
農林水産業費	466,999	9.4%	100.4%
教育費	428,807	8.6%	79.5%
衛生費	507,218	10.2%	105.2%
土木費	340,882	6.8%	97.1%
商工費	227,979	4.6%	189.4%
消防費	162,548	3.3%	112.4%
その他	236,366	4.7%	239.7%
合計	4,989,819	100.0%	102.8%



決算審査意見書 (要旨)

令和4年度田子町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算書に基づき、関係諸帳簿及び証拠書類等を照会した結果、一般会計及び特別会計とも、新型コロナウイルス感染症対策等にかかる事業の影響による増減はあるものの予算の執行については、効率的かつ適正な執行が行われていることを確認し、事業の執行についてもおおむね良好に進捗しており成果が認められました。

収入未済額においては、町営住宅使用料は減少傾向にあるものの、国民健康保険税、町税は増加傾向にあります。

町全体の会計で見ますと、依然として収入未済額は大きな金額となっておりますので、滞納整理の推進と県市町村総合事務組合との連携を一層強化し、徴収の効果を上げるとともに適正な欠損処分処理を望みます。そのためには、庁内の連携は勿論のこと、情報収集等に努め、より一層の協力が必要と思われれます。なお、不納欠損処分については、その理由と手続き等を慎重に審査しましたが、これは実情やむを得ないものであると認めました。

次に、歳出面についてであります。自主財源等の減少が進むなか、年々厳しさが増す昨今でありますので、健全かつ着実な財政運営を図るべく、歳出の抑制に努めなければならぬものと思われれます。

よって、今後の事務事業の予算編成及び予算執行に当たっては、本町のおかれている現実への認識を深め、職責上の自覚を持ってこれに望み、行政上の効果を高めるよう努力していただきたいものであります。特に他団体への補助金交付については、補助金交付申請書並びに決算書の精査を綿密に行い、適正なる交付を望むものであります。

特別会計に係わる事業運営は、後期高齢者医療特別会計、診療所・老健施設事業特別会計に係る経費が増加の傾向にあるため、一般会計からの繰出金依存度を軽減するために、保健福祉事業等に力を入れ、施設・備品等の適正管理など創意工夫に努力することを望みます。

以上をもちまして、令和4年度の決算審査報告といたします。

田子町監査委員

高沢 靖直
北田 騰

令和4年度決算審査特別委員会

令和4

一般会計 歳入

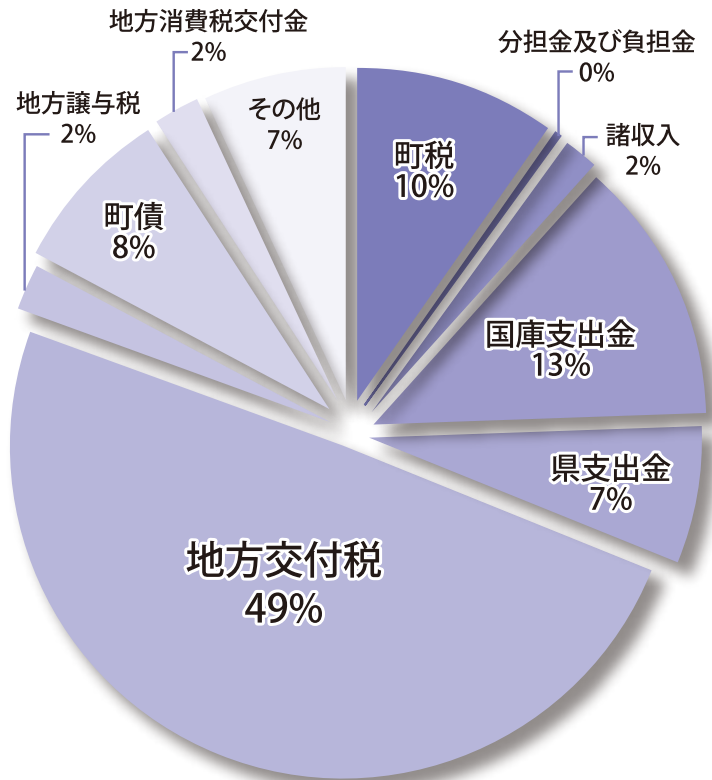
※自主財源と依存財源とは???

○自主財源：町が自力で調達できるお金

○依存財源：国・県などから、交付、割り当てられるお金

歳入総額：50億9838万円

財源	項目	令和4年度		
		決算額(千円)	構成比	前年度比
自主	町税	500,520	9.8%	104.6%
	分担金及び負担金	21,722	0.4%	178.1%
	諸収入	85,514	1.7%	105.5%
依存	国庫支出金	651,220	12.8%	74.8%
	県支出金	336,332	6.6%	117.3%
	地方交付税	2,522,877	49.5%	98.1%
	地方譲与税	107,684	2.1%	103.1%
	町債	409,600	8.0%	105.3%
	地方消費税交付金	123,769	2.4%	99.1%
	その他	339,142	6.7%	129.4%
	合計	5,098,380	100.0%	98.4%



自主財源	607,756	12.8%	106.3%
依存財源	4,151,482	87.2%	95.5%

主な歳出について

公債費

町債として借りたお金の返済など

衛生費

予防接種、検診などにかかる費用

総務費

国際交流や主な庁舎の維持管理、様々な政策にかかる費用

農林水産業費

農畜産業支援や産業振興などにかかる費用

土木費

道路や橋の整備や維持などにかかる費用

民生費

社会福祉や子育て支援、定住移住政策などにかかる費用

教育費

給食や小・中学校、文化財の保存、活用などにかかる費用

商工費

観光振興や施設の維持管理などにかかる費用

広報編集委員会クリニック研修会

プライバシー権侵害

東京地判昭和39年9月23日「夏のあと」事件

…いわゆるプライバシー権は、私生活をみだりに公開されないという法的保障なし権利として理解されるから、その侵害に対しては侵害行為の差し止めや精神的苦痛に因る損害賠償請求権が認められるべきものであり、民法上、プライバシー権が認められるべきものである。

○8/31 青森市で開催された研修会では、田子町の議会だよりがクリニックを受け、町民目線で読まれる広報誌を目標に改善点等が解説されました。改善点などを委員会でも再検討し、今後の議会だより編集へ生かしていきたいと思えます。

○9/27 東京都で開催された研修会では、広報誌発行に伴う法律からの目線で実際に訴訟まで発展した事例を元に、回避方法や作成段階での注意点等について説明がありました。

東京都



著作権について研修を受ける

青森市



県内の町村から選ばれクリニックを受け、改善点など説明を聞き今後活かす

二戸市・三戸町・田子町議会議員研修会

10月3日、二戸市で地域の活性化について講演が行われ、各町村議員と活発な意見交換が行われました。



郡監査委員県外研修



7月17日・18日、北海道白老町にある民族共生象徴空間「ウポポイ」にて視察が行われました。アイヌ民族の文化・伝統だけでなく、差別など様々な角度から発信し、歴史から目を背けず受け入れることで、観光施設としての一端を担いました。



令和5年度 議員県外研修 長野県飯綱町 いいづなコネクト



リンゴシードルなど
地産地消することで
様々なメリットを生み出す



個人のアイデア
を活かし、
共に取り組む
仲間を募集!!



地域のかと共にクリエイティブな活動を展開

平成30年3月に廃校予定であった2校に対し、平成27年に廃校の利活用について地域住民と協働で検討チームが立ち上がり、平成29年に町へ提言書を提出。交付金を活用し施設整備を開始した。令和2年にオープンを迎えた。

編集後記

新型コロナウイルス感染症が5類になり、感染拡大前の生活が徐々に戻りつつある状況です。人の移動が戻ったことで全国の観光産業も期待を寄せています。我々も活発な意見交換を行う中、地域の活力と行政が協働し町作りをしていく事の重要性を再認識させられる事が多く、
「何かを見に来るのではない、人に会いに帰ってくる。」
の言葉のとおり、人とのつながりは代えがきくものではなく、地域の強みとして活かしていかなければならないと感じました。

(宮村 尚哉)

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会

(117号)

委員長 宮村 尚哉

副委員長 北田 騰

委員 尾形 憲男

委員 欠端 則夫

委員 山崎 一義

執筆協力

高沢 靖直

中平美賀子